

会 議 録

|          |  |       |         |
|----------|--|-------|---------|
| 会議名      | 神川町立小学校適正規模等検討委員会（第6回）   |       |         |
| 開催日時     | 令和3年2月2日（火）  | 開会    | 午後1時30分 |
|          |  | 閉会    | 午後3時15分 |
| 開催場所     | 役場3階 第1、2会議室   |       |         |
| 会議次第     | 1 開 会<br>2 あいさつ<br>・教育長<br>・会長<br>3 議 事<br>（1）望ましい学校規模と配置について<br>（2）その他<br>4 閉 会 |       |         |
| 公開・非公開の別 | 公 開  | 傍聴者数  | 3       |
| 非公開の理由   |  |       |         |
| 委員出欠状況   | 氏 名  |       | 出○・欠×   |
|          | 会長   | 松本 浩  | ○       |
|          | 副会長  | 木村 豊  | ○       |
|          | 委員   | 田中 洋平 | ○       |
|          | 委員   | 野枝 裕治 | ○       |
|          | 委員   | 宮崎 肇  | ×       |
|          | 委員   | 小泉 裕一 | ○       |
|          | 委員   | 江森 貴文 | ○       |
|          | 委員   | 山崎 育樹 | ○       |
|          | 委員   | 島田 悦子 | ○       |
|          | 委員   | 前田 芳江 | ×       |
|          | 委員   | 中野 辰夫 | ○       |
|          | 委員   | 原 剛   | ○       |
|          | 委員   | 貫井 浩  | ○       |
|          | 委員   | 堀川 光宣 | ○       |
| 委員       | 四方田 繁男   | ○     |         |

|        |  |        |
|--------|--|--------|
| 事務局    | 教育長  | 福嶋 慶治  |
|        | 課長   | 矢島 柁仁  |
|        | 補佐   | 堀口 二三夫 |
|        | 主任   | 田村 充   |
| 次第     | 顛 末  |        |
| 1 開 会  |  |        |
| 2 あいさつ | 教育長  |        |
|        | 会 長  |        |
| 3 議 事  |  |        |
|        | (1) 望ましい学校規模と配置について  |        |
| 事務局    | 前回委員より質問のあった「0歳児から6歳児までの転入転出数」について報告。  |        |
| 会 長    | 本日は、前回の会議でお願いしました答申に対する問題点と対応策について、ご意見を聞かせていただきたいと思います。今日は、皆さんの意見をホワイトボードに記入させていただきます。それではご意見をお願いします。  |        |
| 委 員    | 資料の児童数等の数字で議論していけば、1校。地域の事などを考えて行けば2校が良い。丹荘小、青柳小の2校とするのがよいかと思います。  |        |
| 会 長    | 現実的には、2校という意見ですね。問題点は地域的なことで、2校となるとスクールバスなどを考えて行かなければなりません。  |        |
| 委 員    | 最終的には1校だが、まず2校にしてからということも考えられます。30人学級を維持できる規模とすべきです。住民に時間を掛けて説明が必要です。予算的にもそうするのがベストだと思います。こうした内容を町民に早く知らせたほうが良いと思います。  |        |
| 委 員    | 神泉は、子供達は村の宝と決めて、住宅を建てたり人口を増やすことに努力してきました。子供が少ないからといって、デメリットだけではないと思います。地域の核となるべき学校は残すべきです。アンケートの結果や多数決では決めていただきたくないです。丹荘と青柳を合併させて、渡瀬、神泉を残すという選択もあると思います。大きい学校を1つにした方がメリットがあるのではないのでしょうか。 |        |
| 会 長    | 経費のことを考えると、小さい学校を統合させた方がコスト削減になるのではないですか。  |        |
| 委 員    | 耐震の事や、築年数の事を言ってますが、崩れたりしないので気にしなくてもよいのではないかと思います。地域で1つになって頑張りたい。これから若い人たちが頑張って人口を増やしたり、何か考えてくれると思います。  |        |
| 委 員    | 新しい学校を1つ新築した方がよいのではないのでしょうか。農地法も何年かすれば変わるし望みはあります。まずは、複式学級をなんとかしなくてはならないのではないのでしょうか。財政上も厳しいと思いますし、子供の為には早く決断し、方向性を決めていくことが必要だと思います。複式学級の事を考えるとまずは2校にし、その後1校がよいと思います。                     |        |
| 会 長    | ありがとうございました。複式学級の改善を図り、取り組みに応じて早めの決断をしなくてはいけないという意見でした。  |        |
| 委 員    | 私は、4校を残すことを希望します。この検討委員会の事だけをみれば、県や国の方針に従い統合しなくてはいけないような進め方に思えます。私は統合するのは反対です。   |        |

|    |   |
|----|---|
| 会長 | ありがとうございました。4校残す。統合には反対という意見が出ました。  |
| 委員 | 私は、どちらも正解と思え、今答えを出すことはできません。子供達の意見も取り入れてもらいたいし、町込みメール等で保護者の意見も聞いてもらいたい。どちらも間違っていないと思います。  |
| 委員 | 私は、4校残すことを希望します。神泉小は、過疎地域の学校に認定されているのではないですか。そういう学校は残すべきではないでしょうか。今の神川町には魅力がないのではないかと思います。地域の意見も取り入れてもらい、皆さんで決めた方がよいのではないですか。5年後、またこのような検討委員会を行えば考えもいろいろと変わるのではないかと思います。  |
| 会長 | 次に校長先生に、複式学級についてお話しを伺いたいのですが、いかがでしょうか。  |
| 委員 | 複式学級はありますが、複式学級支援員さんがいるので助かっています。違う学年の意見が聞けて良い面もありますが、子供の人数が増えればもっといろいろな意見も出てくると思います。   |
| 委員 | 中学校に上がればいくつかの小学校が寄り合い、人が集まることにより、競争心等も子供に出て、いろいろな面に対してやる気も起きて伸びることがあります。複式学級だと県の教員が1学級に1人しか配置されないの、町で支援員を探さなくてはなりません、これを何年も続けるのはきついと思います。学校は町の支援がないと運営できません。先生を探すのは大変なことです。時給単価も安い為、校長先生が頭を下げてお願いするということもあります。最低賃金に近い金額で来てもらっているのが現状で、辛い面もあります。 |
| 委員 | 私の学校では、少人数学級ということで、加配を受けて1つのクラスを2つに分けて授業しています。子供の学力を上げるには、課題や沢山の工夫をして勉強をしていかなければなりません。大きい学校、小さい学校関係なく、先生はそれに努力している状況です。   |
| 会長 | 文部科学省は、5年かけて35人学級とすることに決定しました。学力をアップするには先生の努力が凄く必要です。人数が多いと学力がのびないのか、不登校が増えるのか、小さい学校はそのようなことはないのか。1クラス30人学級が理想です。いじめについてはどこの学校も0になるまで、いろいろな努力をしています。  |
| 委員 | 町は高齢化してきています。これからは財政問題により維持ができなくなるのではないのでしょうか。早く学校をまとめるべきだと思います。私は2校にするのがよいのではないかと思います。県道が走っているので、バスを出せば通学も可能ではないのでしょうか。  |
| 委員 | 私は、4校を残すべきだと思います。地域の活性化もあり、統合には反対です。コストの問題があるかはわかりませんが、子供の教育に関しては、経費を削ることはしないでほしい。  |
| 会長 | 冷静に考えて子供たちのことを考えると、複式学級は好ましくないと思います。ある程度の人数は確保し、多様な意見に触れ、スポーツや学校行事ができることが大切だと思います。  |

|       |     |  |
|-------|-----|--|
|       | 教育長 | 教育長としての立場で言うと、町の財政も考え、国が求めている教育環境の中で育てていくのが望ましいと思います。30人程度の人数の中で子供達には授業を受けていただくことを望みます。統合した学校に聞くと、意見も沢山出るが、子供達にとっては勉強に意欲も出るし、メリットが多いそうです。文部科学省の理想は、話し合いの中で意見交換をしながら、問題を解決していく授業です。ある程度の人数がいて意見を交わし、競争心が出て伸びていくのではないかと思います。子供達にはそういった環境を与えてあげたいと思います。 |
|       | 会長  | ありがとうございました。今日は、皆さんから沢山の意見を出していただきました。次回の会議では、それぞれの答申の理由・根拠を示していただき、話し合いを行いたいと思います。  |
|       | 委員  | 私達に根拠と言われても難しいです。感情論が出てしまいまとまりません。   |
|       | 委員  | 私は、地元に残したいか、有志で一軒一軒意見を聞いて回りました。99%の方が学校を残してほしいとの意見でした。   |
|       | 会長  | 特定の地域のみでなく、全体の意見を聞かせていただきたいと思います。  |
|       | 委員  | この検討委員会だけで決めるのは無理があるのではないですか。地域の意見も聞いてもらいたい。   |
|       | 会長  | ありがとうございました。今日の皆さんの意見を事務局にまとめていただき、次回の委員会で皆さんに示して、それぞれの提案の理由づけを行いたい。   |
|       |     | (3) その他  |
|       | 事務局 | 次回の委員会が2月16日となること、通知は本日中に発送すること及び本日の会議の議事録署名人について説明する。   |
| 3 閉 会 | 事務局 | ありがとうございました。閉会を副会長にお願いします。   |
|       | 副会長 | 以上をもちまして、会議を終了いたします。   |
|       | 閉 会 | 午後3時15分 終了   |